

検討する。当研究では小児神経科、児童精神科に一般精神科、リハビリテーション科が加わり、評価を行った。

次にそのアセスメントについて考察する。今回の研究で新たに開発したアセスメントは上述した成人版問診票の他、独自の生活技能に関するアセスメント票、個別支援計画書である。これら以外にアセスメントツールとして下記のものを用いた。SRS-A、PARS、AQ-J、就職レディネス・チェックリスト、就労移行支援のためのチェックリスト、自己概念測定尺度、福祉用具心理評価スケール（PIADS日本語版）。幼小児期に比べ格段に複雑で多様な社会生活をおくる青年・成人期では評価すべき項目も多領域にわたる。当人・家族の支援ニーズをアセスメントによつて的確にたらし得ることはもちろんであるが、さらに支援による本人変化によりによりニーズそのものも変化することを念頭に置き、適切な時期に再評価を施行し、個別支援計画に反映させることが肝要である。

最後に個別支援計画に基づいた自立訓練および就労移行支援について考察する。障害者自立支援法に基づいたサービス提供を想定して、同法の指定障害者支援施設である更生訓練所で身体

障害者、高次脳機能障害者と同様に個別支援計画書を作成し、自立訓練、就労移行支援を施行した。個別の事例検討については江藤文夫分担報告書に詳述されている。全例研究参加直前は程度の差こそあれ社会的引きこもりの状態にあり、まず生活訓練として特に生活リズムの獲得、身だしなみ、コミュニケーションのスキルアップ、社会生活技能の獲得が課題であった。介入初期では昼夜逆転や体力がないことから訓練時間にも大きな制限がある。就労移行支援としては技術習得ではなく、職場体験訓練が非常に有効であった。個々の特性を理解し、配慮しつつ、更生訓練所内の多様な場面における体験の積み重ねによって、コミュニケーションや場面適応について、比較的短期間で改善がみられた。また対人行動にも望ましい変化が見られた。こういった変化は社会性あるいは対人技能の獲得、というよりは短期間でも適切な継続的支援に裏打ちされた多様な場面でのポジティブな経験の蓄積が、社会参加への不安を緩和し動機づけを高めた可能性が考えられる。

20年度の事例検討から、青年期発達障害者の地域生活移行を支援するうえで、大学等高等教育機関との連携も重

要な要素であることが明らかとなった。今年度は分担研究者北村弥生が米国における青年期発達障害者への支援を調査研究し別途報告書を加えた。

3年目（平成22年度）

まず当研究対象について、青年期発達障害者の就労移行支援に関する研究：対象者の医学的側面、青年期発達障害者の円滑な地域生活移行に必要なリハビリテーションプログラムの開発についての研究、青年期発達障害者の地域生活移行における医療面での支援（対人応答性尺度成人版を用いた定量的評価）、青年期発達障害者と両親の自己概念と就労移行訓練効果生活および労働に関する研究、発達障害者に適した機器の研究の5件の分担研究の対象者は、地域連携モデルである所沢モデルを運用し、国リハ更生訓練所で一定期間自立訓練および就労移行支援という福祉サービスを提供した事例である。そのプロフィールは表2、3に示した。研究対象の募集は発達障害者支援センターにておこなったが、大半がひきこもり状態で、半数が未診断であった。また全例通常学校卒業であったが、WAISの結果からは知的境界域から軽度障害に分布していた。一方対象者のPDD特性については、SRS-Aを用いて検討したが、対照PDD

成人と有意な差はない。以上から福祉サービスを利用して一般就労をめざす対象者として、知的境界域から軽度障害のある発達障害成人が浮かび上がる（図5）。

次に福祉サービス手法について、自立支援法下の自立訓練・就労移行支援は有効であり、ひきこもりにあった者に対人技能、社会的コミュニケーション等で好ましい変化が得られた。また9名のうち、3名が一般就職、1名が大学進学と社会参加を果たし、2名が就職活動継続、1名が医療機関紹介(睡眠・覚醒障害疑い)のため研究参加中止、2名が通所継続中である。また補完機器として新たに開発しうる領域が確認された。今回福祉サービス利用期間は平均12ヶ月であったが、参加者は就労後の支援に大きな不安を感じていた。就労後の職場定着や生活支援について、地域支援機関との連携は重要なポイントとなり、当研究でも21年度より障害者就業・生活支援センターを地域連携モデルの中に組み込んだ。

家族支援について今年度は学童期までに発達障害と診断され支援を受けた本人・家族を対象に検討したが、PDD特性が高いほど家族の不安が高いことが示唆された。今後成人期にはじめて

診断を受けた群、すなわち既診断群にくらべ発達障害に対する知識が少ないこの群での家族の不安が同様の傾向を持つのか検討が必要である。

就労・就学を果たした事例でも新たな環境での支援に大きな不安をもっており、就労後の職場定着や生活支援について、地域支援機関（障害者就業・生活支援センター等）との連携は重要なポイントと考える。今後こういった福祉サービス利用（実際の支援の流れは図4参照）は、発達障害者支援センターで特に移行支援に苦慮している境界域から軽度知的障害のある発達障害成人の地域生活移行に有用であると考える。

E. 結論

障害者自立支援法は現在新たな法の制定が進められているところであるが、現時点では発達障害者も自立支援法下の福祉サービスを利用可能であることが明言されている。しかしながら制度はあっても実際のサービス提供はなかなか進まない現状である。今回の研究では地域連携モデルの中で自立支援法下の自立訓練・就労移行支援を実施し、ひきこもり状態にあった発達障害成人に地域生活移行の支援を行っ

た。就労・就学を果たした事例でも新たな環境での支援に大きな不安をもっており、就労後の職場定着や生活支援について、地域支援機関（障害者就業・生活支援センター等）との連携は重要なポイントと考える。福祉、医療、雇用支援、地域の各機関が連携することにより、現在の障害者福祉制度のなかで福祉サービスを利用しての、発達障害成人の地域生活移行支援について、1つのモデルを提唱した。

F. 研究発表

- 深津玲子, 藤井俊勝, 遂行機能障害の画像診断. *Journal of Clinical Rehabilitation*, 2008. 17: p. 26-31.
- Fukatsu, R, Social and Work Inclusion Challenges for Persons with TBI and Autism in Japan US-Japan Veterans TBI, Autism Healthcare Conference 2008. Washington DC, USA. 2008-07-13, 14.
- 深津玲子, 発達障害者への情報提供の重要性と就労支援について. 発達障害に対する工学的支援の方向性を探る. 国立障害者リハビリテーションセンター

- (所沢) . 2008-12-05.
- 深津玲子, 青年期発達障害者に対する自立訓練および就労移行支援. 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会. グランシップ静岡(静岡県静岡市駿河区池田79-4). 2009. 2009-06-05.
 - 深津玲子, 青年期の高機能広汎性発達障害者への自立訓練・就労移行支援, 第50回日本児童青年精神医学会総会, 京都国際会館(京都市). 2009. 2009-10-01/02.
 - 車谷洋, 砂川融, 山中基司, 道財翔太, 深津玲子, 課題提示方法の相違が前頭葉血流動態に与える影響, 第39回日本臨床神経生理学会・学術大会, 西日本総合展示場(北九州市), 2009. 2009-11-20.
 - 東江浩美, 小倉加恵子, 鈴木さとみ, 渡辺芳江, 深津玲子, 発達障害に関する情報提供について-発達障害情報センターにおけるウェブサイトの運用について, 第10回日本言語聴覚学会, 川崎医療福祉大学(岡山県倉敷市), 2009. 2009-06-13
 - 深津玲子, 高次脳機能障害. *Clinical Neuroscience*, 2009. 27(No. 9): p. 1007-1009.
 - 深津玲子. 多発性筋炎. 今日の整形
外科治療指針第6版. 医学書院,
2009, (印刷中)
 - 深津玲子. 多発ニューロパチー. 今日
の整形外科治療指針第6版. 医学
書院, 2009, (印刷中)
 - 深津玲子. Charcot-Marie-Tooth
病. 今日の整形外科治療指針第6
版. 医学書院, 2009, (印刷中)
 - 深津玲子. 発達障害. 社会福祉学習
双書(全15巻) / 第14巻「医学一
般」. 全国社会福祉協議会, 2009,
p. 129-130
 - 深津玲子. 高次脳機能障害. 社会福
祉学習双書(全15巻) / 第14巻「医
学一般」. 全国社会福祉協議会,
2009, p. 130-131
 - 深津玲子, G. 高次脳障害. 精神保
健福祉士・社会福祉士養成基礎セミ
ナー第1巻 / 医学一般-人体の構成
と機能および疾病. 株式会社へるす
出版, 2009, p. 211-216
 - 深津玲子, III 基本症候と責任病変
B. 言語の障害 視床性失語と線条体
失語, 脳血管障害と神経心理学第2
版. 2009, 医学書院: 東京. (印刷
中)
 - 深津玲子, 診断基準, 今すぐできる
高次脳機能障害リハビリテーション
昭和大学医学部内科学講座神経内科

- 学部門教授 河村 満, Editor.
- 2009, 株式会社メディカ出版: 大阪. (印刷中)
- 深津玲子, 発達障害者支援に関する研究の発表. 平成20年度研究者成果発表会. 戸山サンライズ (東京). 2008. 2009-01-28.
 - 深津玲子, 発達障害情報センターの取組みについて. 発達障害者支援施策報告会. 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2008. 2009-03-06.
 - 深津玲子, 高等教育における障害学生に対する生活・学習支援. WHO指定研究協力センターセミナー. 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2008. 2009-02-07.
 - 深津玲子, 発達情報センターの紹介. 研究所コロキウム. 国立障害者リハビリテーションセンター研究所. 2009. 2009-04-14.
 - 深津玲子, 発達障害情報センターの説明. 平成21年度発達障害者支援センター全国連絡協議会. 津市アストプラザ (三重県津市羽所町700番地). 2009. 2009-06-05.
 - 深津玲子, 高次脳機能障害. 秩父学園養成所 (所沢市). 2009. 2009-06-25
 - 深津玲子, Information Center for the Persons with Developmental Disorders. 国立障害者リハビリテーションセンター (所沢市). 2009. 2009-01-31. 英語.
 - 深津玲子, 青年期の発達障害支援の取り組み. 平成21年度第2回発達障害者支援センター職員研修会. 秩父学園. 2009. 2009-11-06.
 - 深津玲子, 臨床神経学総論. 臨床神経学講義. 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2009. 2009-10-22.
 - 深津玲子, 総論/解剖 (脳・脊髄・末梢神経・血管・脳脊髄液). 臨床神経学講義. 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2009. 2009-11-19.
 - 深津玲子, 外傷性脳損傷のリハビリテーション. リハビリテーション医学講義. 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2009. 2009-11-26.
 - 深津玲子, 発達障害に関する2つの情報センターから. JDDネット第5回年次大会. 成蹊大学 (東京都武蔵野市). 2009. 2009-12-13.
 - 深津玲子, 内部障害 (呼吸・循環

- 器)のリハビリテーション, リハビリテーション医学講義, 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2009. 2009-12-10.
- 深津玲子, 脳血管障害I・II 診断・治療・リハビリテーション, 臨床神経学講義, 国立障害者リハビリテーション学院 (所沢市). 2009. 2009-12-18.
 - 深津玲子, 脳血管障害, 臨床神経学講義, 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市). 2009. 2009-12-21.
 - 深津玲子, 発達障害情報センターについて, 特別支援教育研究, 2009. 2009 8月号(No. 624): p. 36-37.
 - 深津玲子, 特別企画セッション 発達障害者に役立つ支援技術とは? - その役割と今後の技術開発を考える (司会). 第24回リハ工学カンファレンス, 所沢市, 2009. 2009-08-26.
 - 深津玲子, 司会, リハ工学学院研修会, 国立障害者リハビリテーションセンター学院 (所沢市).
- G. 健康危険情報 なし
- H. 知的財産権の出願・登録状況 なし

図1 当研究における分担研究の関係図

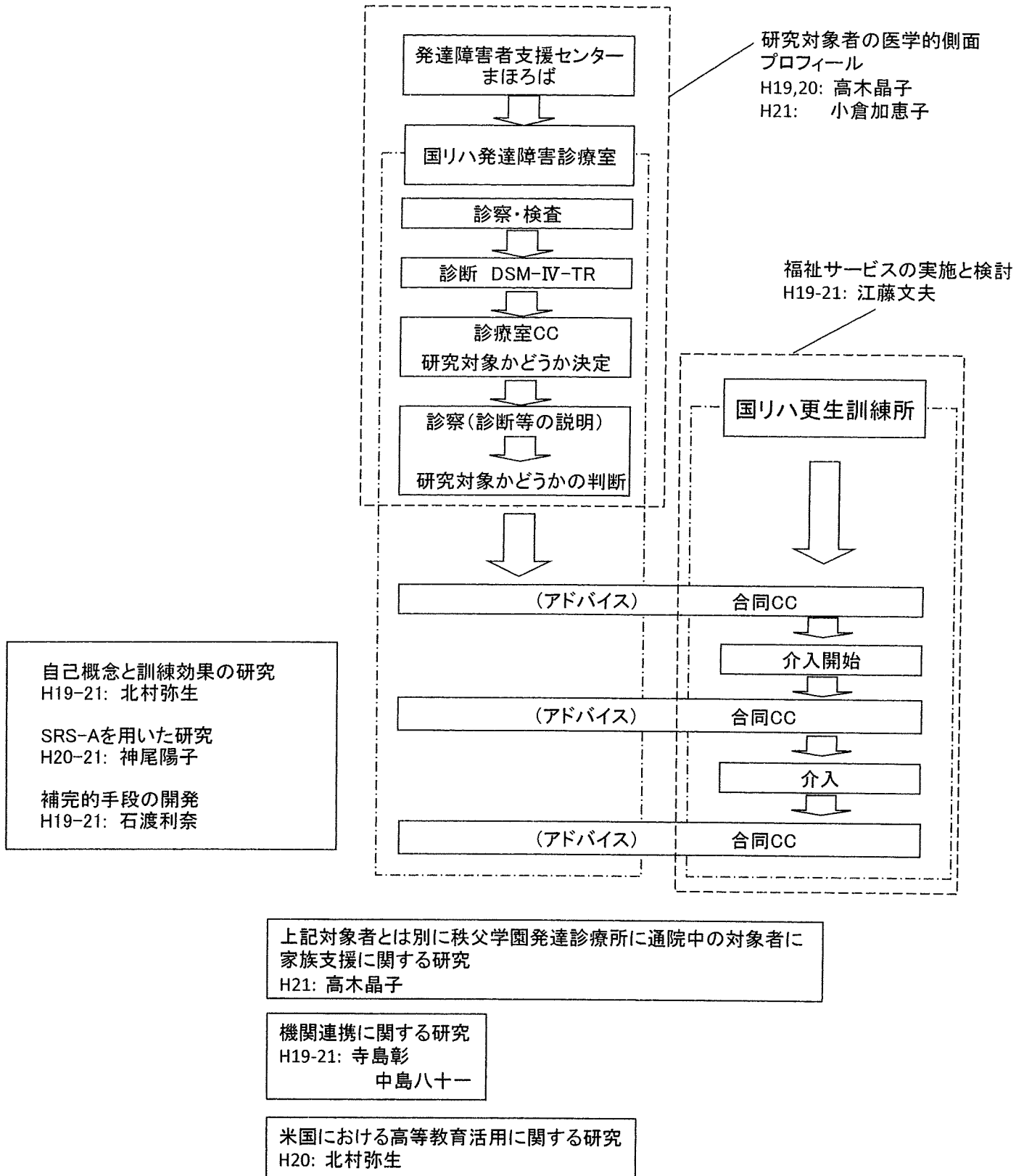


図2 初年度作成した地域連携モデル(所沢モデル)

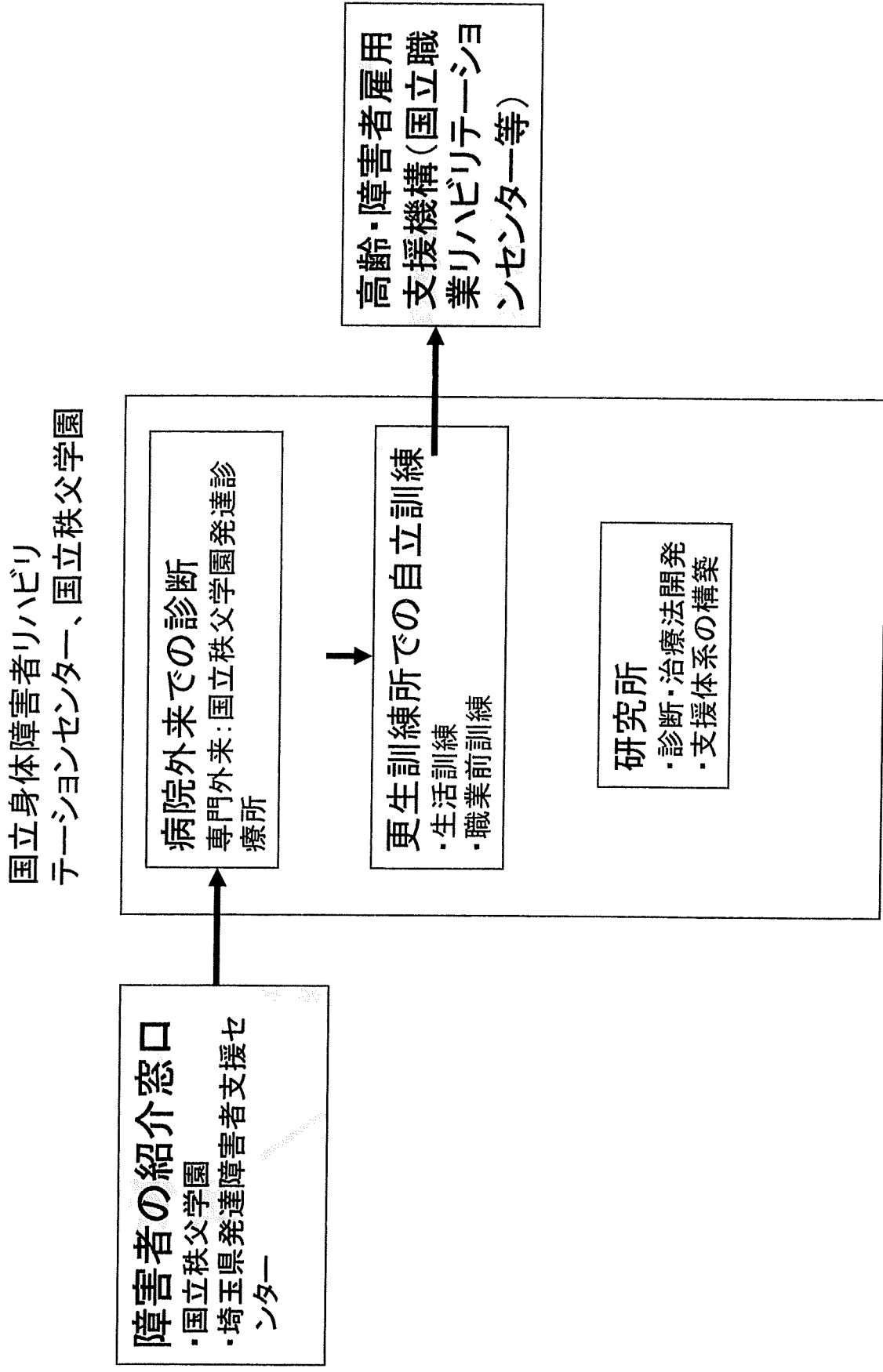


図3 最終年度の所沢モデル

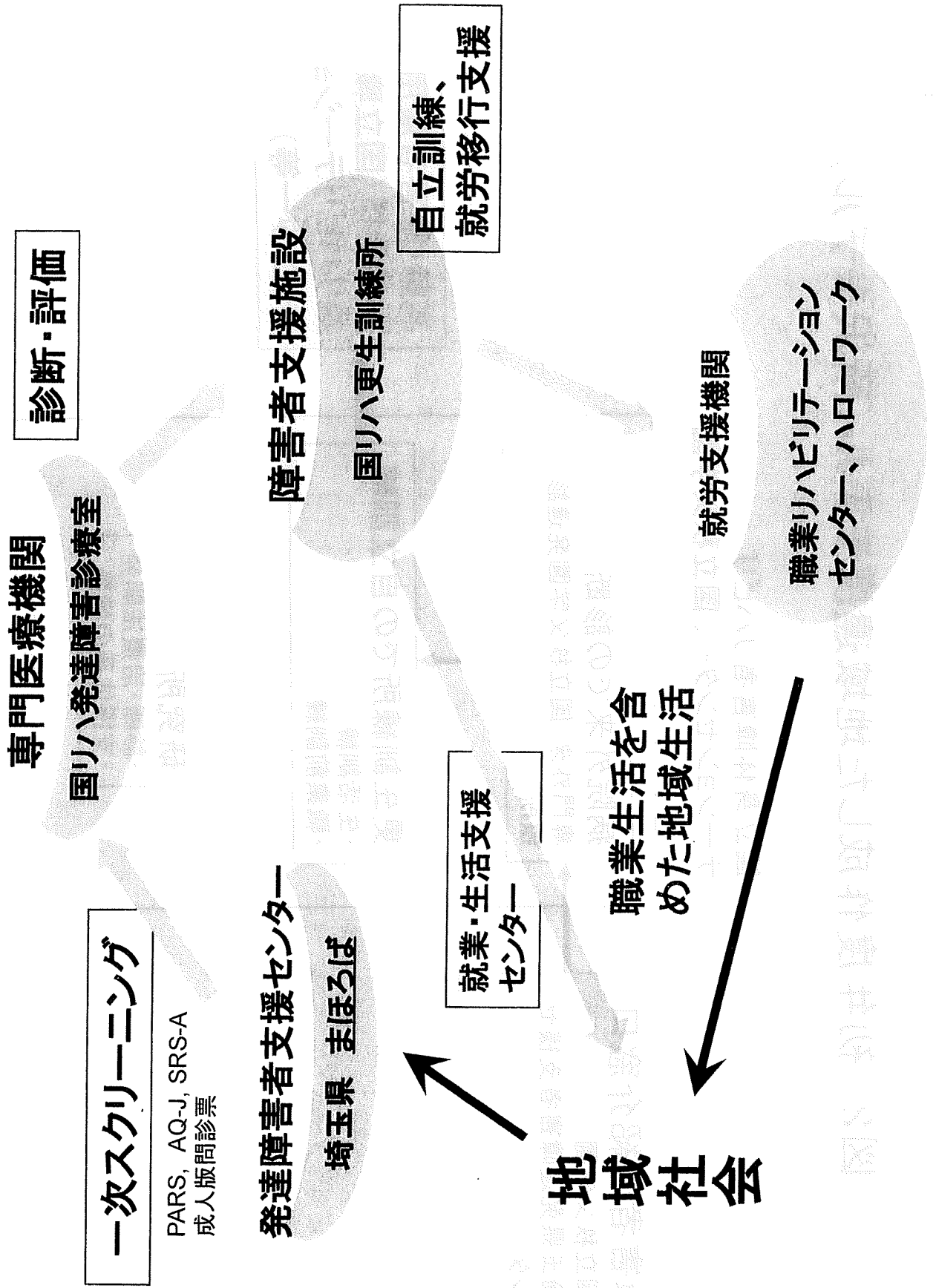
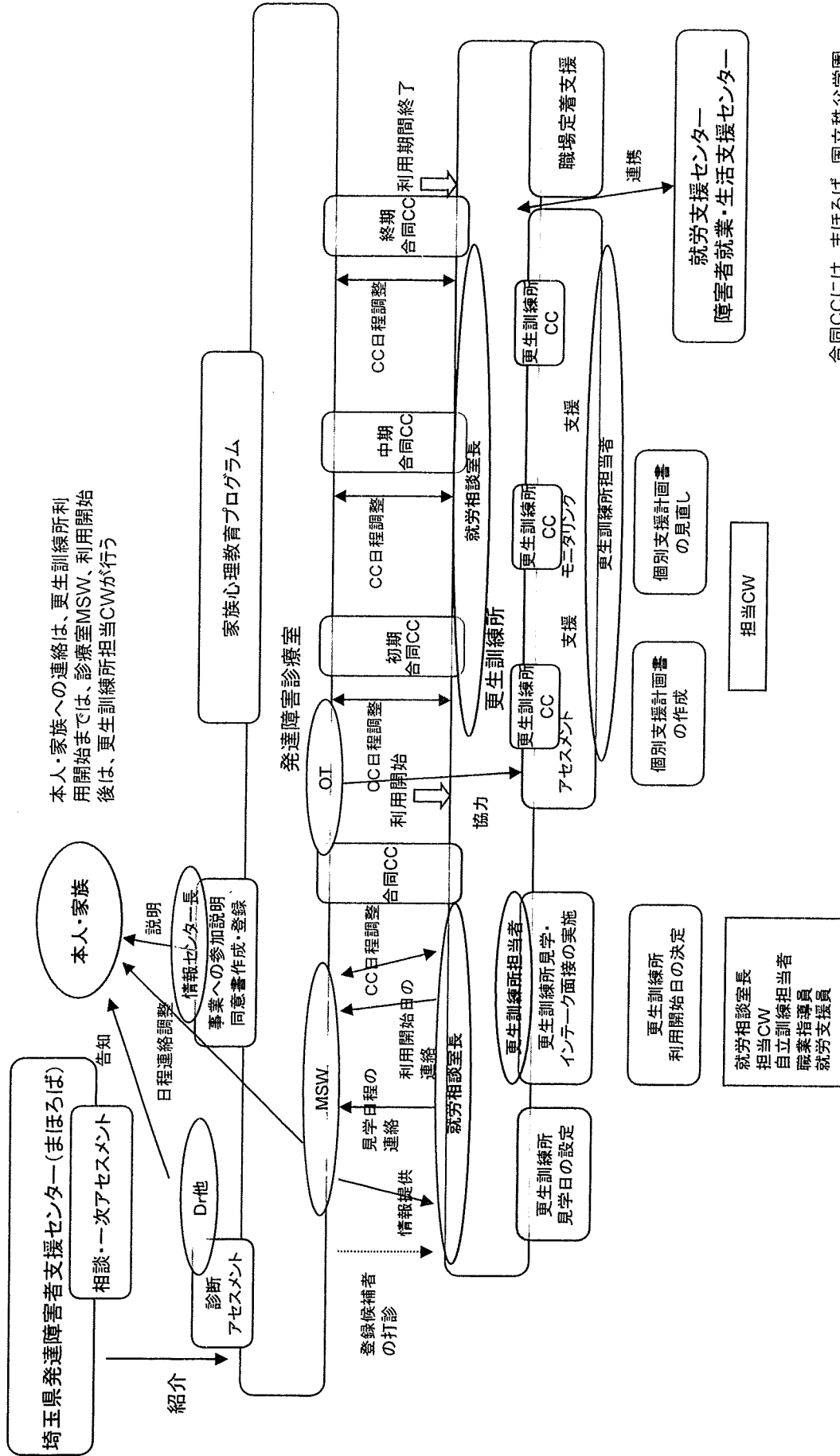


図4 更生訓練所の支援の流れ

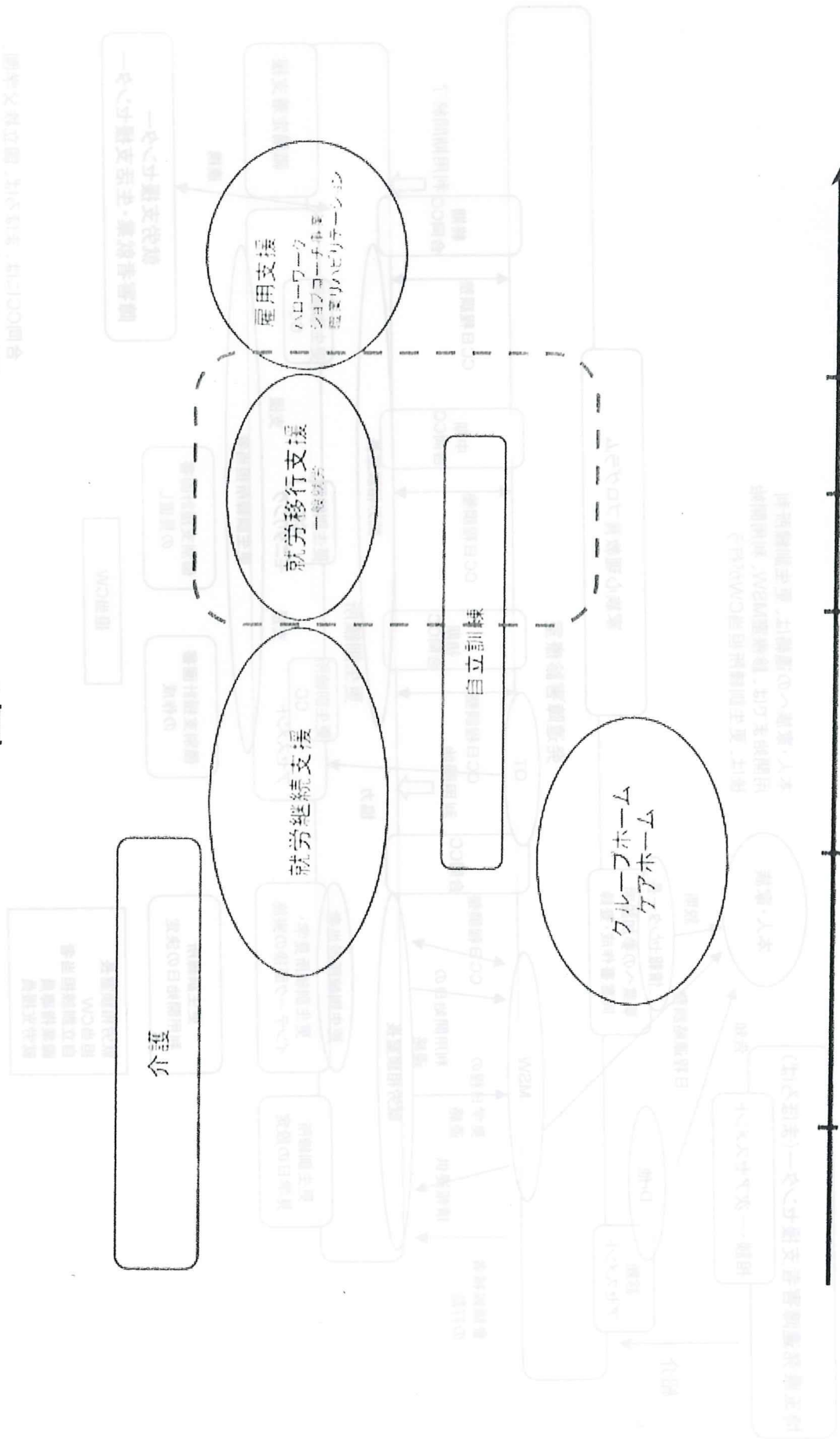


本人・家族への連絡は、更生訓練所利用開始までは、診療室MSW、利用開始後は、更生訓練所担当CWが行う

合同CCには、まほろば、国立秩父学園、国立職業リハビリテーションセンター、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等からの参加を調整する。CC開催の連絡は、就労相談室長が行う

図5

「就労継続支援A型」CC設置の
 一環として、就業支援・生活支援の
 両面から、就業支援・生活支援の
 両面から、就業支援・生活支援の
 両面から、就業支援・生活支援の



事業支援 地域連携 連携

事業支援の充実と就業支援の充実

事業支援

地域連携

連携

就業

【ご本人】 名前： _____ 年齢： _____ 歳 性別： 男 ・ 女

【回答者】 名前： _____ ご本人との関係： _____

【評価日】 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

以下の各質問について、過去6ヵ月のご本人の行動に、どの程度あてはまりますか。
最も近い番号を選んで○で囲んでください。

1 2 3 4
 あてはまらない ときどきあてはまる たいていあてはまる ほとんどいつもあてはまる

1. 一人である時と比べて、誰かと一緒にいると、かなり気詰まりな様子である。	1	2	3	4
2. 話している内容と、顔の表情が一致しない。	1	2	3	4
3. 人と接するとき、おどおどしない。	1	2	3	4
4. ストレスがかかると、奇妙なほど頑固で融通のきかない行動パターンがみられる。	1	2	3	4
5. 人が自分を利用しようとしていることに気づかない。	1	2	3	4
6. 人というより、独りでいることを好む。	1	2	3	4
7. 人が何を考え、感じているかに気づいている。	1	2	3	4
8. 風変わりな、あるいは、奇妙にみえる振る舞いをする。	1	2	3	4
9. 基本的な生活のニーズを満たすにも援助がいり、頼りきっているようにみえる。	1	2	3	4
10. 物事を文字通りに取りすぎて、会話の意味が理解できない。	1	2	3	4
11. 適度な自信をもっている。	1	2	3	4
12. 自分の気持ちを人に伝えることができる。	1	2	3	4
13. 仲間と、順番にやりとりするのが苦手だ。(会話で、聞き手・話し手の役割がわかっていない)	1	2	3	4
14. 手や足をバランスよく使う運動が苦手だ。	1	2	3	4
15. 人の声の調子や表情の変化に気づき、適切に対応する。	1	2	3	4

以下の各質問について、過去6ヵ月のご本人の行動に、どの程度あてはまりますか。
最も近い番号を選んで○で囲んでください。

1 2 3 4
 あてはまらない ときどきあてはまる たいていあてはまる ほとんどいつもあてはまる

16. 視線を合わせない。あるいは、視線の合わせ方が独特だ。	1	2	3	4
17. 不公平な場合、そうだとわかる。	1	2	3	4
18. 一生懸命努力しても、友達を作ることが難しい。	1	2	3	4
19. 会話をしているとき、自分の考えをうまく伝えられずいららする。	1	2	3	4
20. 普通はあまり見られない感覚的興味（例えば、頻繁に指の匂いをかぐ）を示す。あるいは手が届くところにある小さい物を、変わったやり方で、反復的にいじったり操作する。	1	2	3	4
21. 人の動作や態度を真似することが、適切な状況でできる。	1	2	3	4
22. 他の大人と、その場にふさわしいやりとりをする。	1	2	3	4
23. 強いられないと集団活動または社交的なイベントに参加しない。	1	2	3	4
24. 人とくらべて、いつもの決まったやり方や順序を変えることが難しい。	1	2	3	4
25. 周囲から浮いている、あるいは、「周囲と波長が合っていない」ことを気にしていないようだ。	1	2	3	4
26. 人が悲しんでいると慰める。	1	2	3	4
27. 他の大人とのやりとりを、自分から始めようとしない。	1	2	3	4
28. 同じことを何度も何度も繰り返したり話したりする。	1	2	3	4
29. 人から、変だとか、かなり奇妙だと思われる。	1	2	3	4
30. いろいろな事が自分のまわりで同時進行している場面では、気が動転する。	1	2	3	4
31. 一つのことを考え始めると、それにとらわれて他のことを考えられない。	1	2	3	4
32. 自分の身体を清潔に保つ。	1	2	3	4
33. 自分としては礼儀正しくしようとしても、相手に気まずい思いをさせる。	1	2	3	4
34. 自分と親しくしようとしてくる人を避ける。	1	2	3	4
35. 日常会話の流れにのることが難しい。	1	2	3	4

以下の各質問について、過去6ヵ月のご本人の行動に、どの程度あてはまりますか。
 最も近い番号を選んで○で囲んでください。

1 2 3 4
 あてはまらない ときどきあてはまる たいいていあてはまる ほとんどいつもあてはまる

36. 家族と親しく関わるのが難しい。	1	2	3	4
37. 他の大人と親しく関わるのが難しい。	1	2	3	4
38. 相手の気分の変化に適切に反応する。(例：友達が、楽しい気分から悲しい気分になった時など)	1	2	3	4
39. 興味の範囲が著しく狭い。	1	2	3	4
40. 想像力があるが、想像におぼれて現実を忘れてしまうことはない。	1	2	3	4
41. とりとめもなく、次から次へと活動が移りかわる。	1	2	3	4
42. 音や手触り、匂いに過度に敏感なようだ。	1	2	3	4
43. ちょっとした会話(人との日常会話)をする能力があり、楽しめる。	1	2	3	4
44. 他の大人のように、出来事の因果関係(原因と結果)をわかっていない。	1	2	3	4
45. たいいていは、近くにいる人々が注意を向けている物事に興味を示す。	1	2	3	4
46. 生真面目すぎる表情をしている。	1	2	3	4
47. 場にふさわしくない時に笑う。	1	2	3	4
48. ユーモアを楽しみ、人の言う冗談がわかる。	1	2	3	4
49. 知的な作業や計算などのごく限られたものはとてもうまくできるが、その他のほとんどのことはそれほどうまくできない。	1	2	3	4
50. 反復的で変わった動作をする。	1	2	3	4
51. 質問に的確に答えることが難しく、的外れな話になってしまう。	1	2	3	4
52. 大きすぎる声で話していることや、騒々しい音をたてていることに自分で気づく。	1	2	3	4
53. 人と話をする声の調子が独特である。(例：ロボットのように話したり、講演でもしている様な口調で話す)	1	2	3	4
54. まるで物に対するかのように人に接する。	1	2	3	4

以下の各質問について、過去6ヵ月のご本人の行動に、どの程度あてはまりますか。
 最も近い番号を選んで○で囲んでください。

1 2 3 4
 あてはまらない
 とまじきあてはまる
 たいていあてはまる
 ほとんどいつもあてはまる

55. 相手に近づきすぎていることや、人のスペースに侵入 <small>しんにゆう</small> していることに自分で気づく。	1	2	3	4
56. 二人の人が話をしているとき、その間に割りこんで歩く。	1	2	3	4
57. 孤立している；家から外出せず、ひきこもる方である。	1	2	3	4
58. 物事の全体を見ずに、部分に集中しすぎる。	1	2	3	4
59. 過度 <small>かど</small> に疑い深い。	1	2	3	4
60. よそよそしく、自分の感情を出さない。	1	2	3	4
61. 融通 <small>ゆうずう</small> がきかず、決めたことをなかなか変えられない。	1	2	3	4
62. 何かをするときに、普通ではない理由、または筋 <small>すじ</small> の通らない理由 <small>か</small> を挙げる。	1	2	3	4
63. 変わった方法で、人に触れたり、挨拶をする。	1	2	3	4
64. 人前では、過度 <small>かど</small> に緊張 <small>きんじょう</small> している。	1	2	3	4
65. ぼんやりと宙 <small>ちゆう</small> を見つめる。	1	2	3	4

お疲れさまでした。65項目すべてに回答したかどうか、ご確認ください。

SRS copyright © 2003 by Western Psychological Services. Authorized research translation used by Y. Kamio of Japan's National Institute of Mental Health in specific scholarly application, under limited-use license from the publisher, Western Psychological Services, 12031 Wilshire Boulevard, Los Angeles, California 90025-1251, U.S.A. All rights reserved. No additional reproduction may be made, whether in whole or in part, without the prior, written authorization of Western Psychological Services (rights@wpspublish.com).

SRSの著作権は米国のWestern Psychological Services (WPS) 出版社にあります。この研究用日本語訳は、特定の学術利用のため、国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部長の神尾陽子がWPS社から限定使用許可を得たものです。WPS社の書面による許可なくこの一部または全体を複製することを禁じます。

氏名 _____ 性別 (○で囲む) 男 女 年齢 _____ 歳 月 _____

この用紙の表裏にある50の質問について、あなたにもっともよくあてはまる答のアルファベットを○で囲んで下さい
(あまり長く考えずに、できるだけ速く選んで下さい)。

1. 私は物事を自分1人でよりも他の人とすることを好む	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
2. 私は物事を何回も何回も同じようにすることを好む	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
3. もし私が何かを想像しようとする、心の中に映像を作り出すのはとても簡単だ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
4. 私は、しばしば他のことが見えなくなるほど1つのことに強く夢中になる	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
5. 私は、他の人が気づかないときにも、よく小さな音に気づく	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
6. 私は、車のナンバープレートまたは同様な一連の情報にいつも注目する	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
7. 他の人たちは、私が言ったことをよく失礼だと言う、たとえ私がそれは丁寧だと思っていなくても	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
8. 私は物語を読んでいるときに、登場人物たちがどのように見えるだろうかを簡単に想像できる	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
9. 私は日付に魅せられている。	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
10. 社交的な集まりの中で、私はいくつかの異なる他人の会話を容易に聞きとることができる	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
11. 私は社交的な場面を気軽に思う	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
12. 私は、他人が気づかない細かいことに気づく傾向がある	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
13. 私はパーティよりはむしろ図書館に行きたい	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
14. 私は物語を作るのは簡単だ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
15. 私は、自分が物よりも人により強くひきつけられているのに気づいている	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
16. 私は、もし追求することができないと当惑してしまふ、とても強い興味をもつ傾向がある	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
17. 私は、社交的なおしゃべりを楽しむ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
18. 私が話すときには、他人が横から口を出すのは、必ずしもいつも簡単とは限らない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
19. 私は数に魅せられている	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
20. 私は物語を読んでいる時に、登場人物の意図を理解するのが難しい	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
21. 私は物語を読むことを特別には楽しまない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
22. 私は、新しい友達をつくるのは難しいことに気づく	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
23. 私は、いつも物事のパターンに気づく	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
24. 私は、博物館よりはむしろ劇場に行きたい	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
25. もし日課が妨げられても、それは私を当惑させない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう

26. 私は、しばしば、私がどうやって会話を続けていくかを知らないことに気づく	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
27. 誰かが私に話しているときに、私は“行間を読む”のが簡単なことに気づく	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
28. 私は、いつも、細かなことよりは、むしろ全体像に集中する	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
29. 私は、電話番号を覚えているのがとても上手ではない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
30. 私は、状況や人の外見の小さな変化に、いつも気づくわけではない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
31. もし私が話しているのを聞いている人が退屈しているなら、私はどのように話すかを知っている	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
32. 私は、一度に2つ以上のことをするのは簡単だ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
33. 私は、電話で話しているとき、いつ自分の話す番かがはっきりしない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
34. 私は、物事を自発的にすることを楽しむ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
35. 私は、しばしば冗談の意味をわかるのが最後になる	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
36. 私は、人の顔を見るだけで、その人が考えていることや感じていることが容易にわかる	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
37. もし中断があっても、私はやっていたことにとっても早く戻ることができる	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
38. 私は、社交的なおしゃべりが上手だ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
39. 人は、私が同じことを長々と話し続けるとよく言う	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
40. 子どもの頃、私は他の子どもたちと、ごっこ遊びが入ったゲームをよく楽しんだものだ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
41. 私は、物事のカテゴリーについての情報を集めるのが好きだ(たとえば、自動車、鳥、電車、植物の種類など)	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
42. 誰か他の人だったらどうだろうと想像することは、私には難しい	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
43. 私は、私が関与するどんな活動も注意深く計画することを好む	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
44. 私は、社交的な機会を楽しむ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
45. 私は、人の意図をわかるのがむずかしい	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
46. 新しい状況は、私を不安にする	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
47. 私は、初めての人に会うのを楽しむ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
48. 私はよい“外交官”である	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
49. 私は、人の誕生日を覚えているのがとても上手ではない	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう
50. 私は、ごっこ遊びが入ったゲームを子どもたちとするのは、とても簡単だ	a. 確かにそうだ	b. 少しそうだ	c. 少しちがう	d. 確かにちがう

問診票（成人版）

- * より良い診療のために、下記の質問にお答えください。
- * ご記入の際は、お手持ちの母子手帳などをご参照ください。
- * ご記入いただいた内容に関しては、個人情報として外部に漏れることはありません。

記入者氏名： _____

続柄：本人・父・母・その他（ _____ ）

記入年月日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

1. 氏名：^{かりな} _____ 男・女

2. 生年月日：昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

3. 住所： _____

連絡先：TEL _____

4. 主なご相談の内容（現在困っていること、気になる癖や行動など）

(_____)

5. 4.が始まった時期はいつ頃ですか。

_____ 年 _____ 月頃 あるいは _____ 歳頃

その時の様子を簡単に記してください。

きっかけとなるような出来事がありましたか。もし、あれば記入してください。

(_____)

6. 4.に書いたご相談事について、今までにどこかで相談されたことがありますか。

ある・ない

_____年_____月頃 あるいは _____歳頃 どこで： _____

_____年_____月頃 あるいは _____歳頃 どこで： _____

_____年_____月頃 あるいは _____歳頃 どこで： _____

今も相談している どこで： _____

7. 4.に書いたご相談事について、今までにどこかで診断・治療を受けたことがありますか。

ない・ある

_____年_____月頃 あるいは _____歳頃

どこで： _____ 診断名： _____

_____年_____月頃 あるいは _____歳頃

どこで： _____ 診断名： _____

_____年_____月頃 あるいは _____歳頃

どこで： _____ 診断名： _____

今も相談している

どこで： _____ 診断名： _____

8. お母様が妊娠中の健康状態についてお聞きします。

健康であった・下記の状態があった（当てはまる項目に○をつけて下さい）

妊娠中毒症・切迫流産・感染症（ _____ ）・Rh型不適合

レントゲン撮影・薬物服用（使用薬剤： _____ ）

飲酒・喫煙・その他（ _____ ）

9. 出生時のことについてお聞きします。

出産場所：（ _____ ）病院・助産所・自宅・その他（ _____ ）

分娩は 自然分娩・吸引・鉗子・帝王切開

逆子（骨盤位分娩）・多胎（双子・それ以上）、首に臍帯が絡んでいた

分娩誘発剤を使用した

その他（ _____ ）

第（ _____ ）週

体重 _____g 身長 _____cm 頭囲 _____cm

アプガースコア（1～10点）の点数をご存知ですか。（ _____ ）点

10. 新生児期（生後4週まで）のことについてお尋ねします。当てはまる項目に○をつけてください。

黄だんはどうでしたか。 普通・治療を受けた（光線療法・交換輸血）

保育器を使用しましたか。 使用しなかった・使用した（ ）日間

次のようなことはありましたか。

（ ）乳首を吸う力が弱かった （ ）ミルクを口から飲めなかった

（ ）泣き声が弱かった （ ）眠ってばかりいた

（ ）頭に血腫があった

11. 以下のような病気になったことはありますか。

ひきつけ ない・ある （ ）歳

頭部外傷 ない・ある （ ）歳

交通事故 ない・ある （ ）歳

うつ ない・ある （ ）歳

不眠 ない・ある （ ）歳

摂食障害 ない・ある （ ）歳

不安神経症 ない・ある （ ）歳

入院が必要な病気 ない・ある （ ）歳 病名： _____

その他 ない・ある （ ）歳 病名： _____

12. 現在、治療中の病気はありますか。

ない・ある

病名： _____ 治療場所： _____

治療：内服薬（ ） その他（ ）

病名： _____ 治療場所： _____

治療：内服薬（ ） その他（ ）

13. これまでに医療機関で検査を受けたことがありますか。当てはまるものに○をつけてください。

（ ）脳CT・MRI 何か言われましたか（ ）

（ ）脳波検査 何か言われましたか（ ）

（ ）血液検査 何か言われましたか（ ）

（ ）その他 _____